

平成28年度沖縄振興特別推進交付金事業（県分）検証シート【公表用】

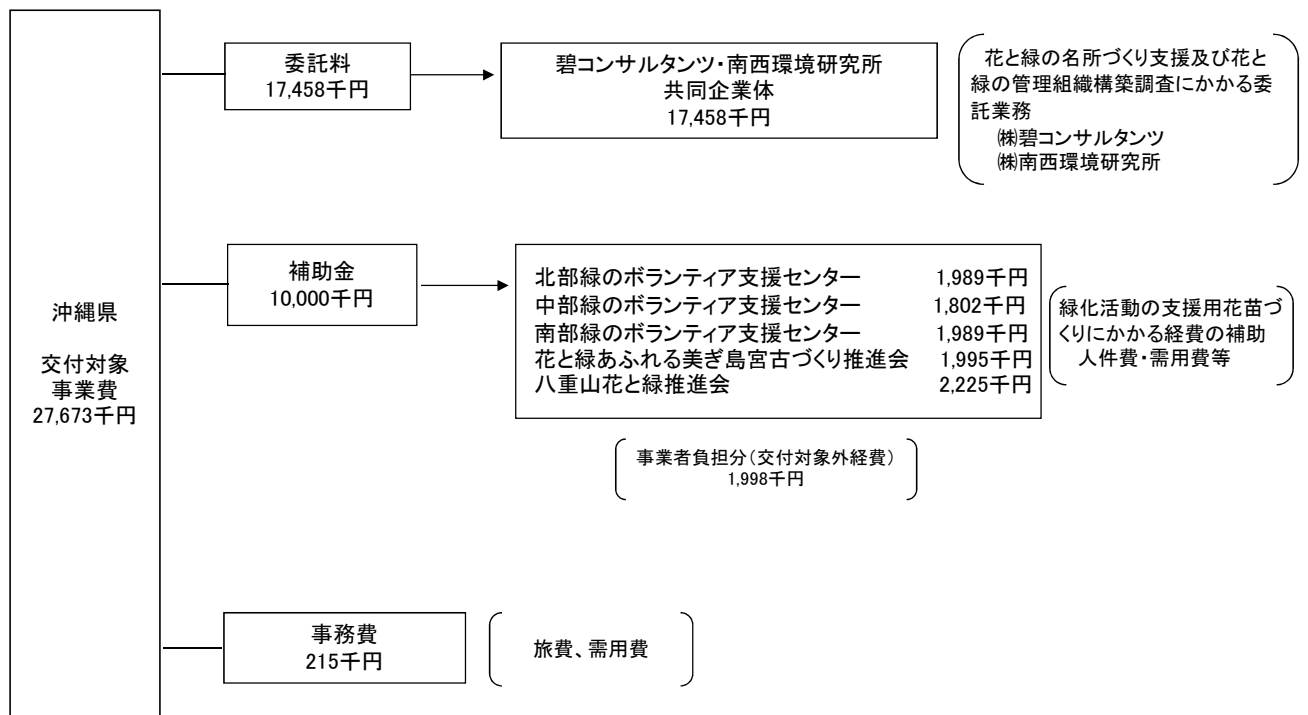
事業番号・事業名	28 沖縄グリーンプロモーション事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第3章-1-(6)-ア		
	環境部 環境再生課		事業実施(予定)年度 平成26～29年度		花と緑あふれる県土の形成		
担当部課名	環境部 環境再生課		事業実施(予定)年度 平成26～29年度		III-1-(1)		
事業内容	亜熱帯の特性を活かした沖縄らしい花と緑の名所づくりを推進するため、自立的かつ持続的に活動する緑化団体の構築手法の確立に向けた支援等を行う。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ()						
予算額・執行額【単位:千円】			26年度	26年度(繰越)	27年度	27年度(繰越)	28年度
	予算の状況	(a) 当初予算額	27,796	—	18,339	—	27,726
		(b) 予算現額	27,796	—	18,339	—	27,726
		(c) 増減額(b-a)	0	—	0	—	0
		(d) 前年度繰越額	—	—	—	—	—
		A. 計(b+d)	27,796	—	18,339	—	27,726
	B. 執行済額		26,749	—	18,062	—	27,673
	うち交付金充当額		21,399	—	14,450	—	22,138
	C. 次年度繰越額		0	—	0	—	0
	執行率(%) (B/A)		96.2%	—	98.5%	—	99.8%
予算の状況の説明		予算額は、地域住民等による緑化活動を継続的に支援するための花苗づくりに係る補助金、地域住民の活動を支援する中核的団体の自立及び継続した活動体制の構築の調査にかかる委託料、当該指導監督にかかる事務費等の経費を計上している。					
活動目標(指標)及び達成状況	H28活動目標(指標)		達成状況				
			25年度	26年度	27年度	28年度	
	持続的緑化活動支援体制構築支援	目標	—	—	—	5団体	
		実績	—	—	—	5団体	
	【参考】緑化活動団体への活動支援 6件	目標	—	10件	6件	—	
		実績	—	6件	7件	—	
【参考】自立的かつ持続的に活動する緑化団体の構築手法の検討	目標	—	—	自立的かつ持続的に活動する緑化団体の構築手法の検討	—		
	実績	—	—	自立的かつ持続的に活動する緑化団体の構築手法の検討	—		
達成状況説明	<ul style="list-style-type: none"> 地域住民等による緑化活動を継続的に支援するための花苗づくりに係る補助金として、中間支援団体となる中核的団体の5団体へ支援を行った。 学識経験者等による委員会の開催及び関係者との調整を行い、中核的団体の自立及び継続した活動体制の構築の検討を行った。 						
成果目標(指標)及び進捗状況	H28成果目標(指標)		基準値(24年度)	26年度	27年度	28年度	目標値(33年度)
	持続的花苗・緑化活動支援体制構築取組	目標	—	—	—	5団体	—
		実績	—	—	—	5団体	—
	【参考】各緑化活動団体の運営基盤の強化及び沖縄らしい花と緑の名所づくりの推進 6団体	目標	—	10団体	6団体	—	—
		実績	—	6団体	7団体	—	—
	【参考】緑化活動団体が自立的かつ持続的に活動するために必要な手法(素案)の作成	目標	—	—	緑化活動団体が自立的かつ持続的に活動するために必要な手法の作成	—	—
		実績	—	—	緑化活動団体が自立的かつ持続的に活動するために必要な手法の作成	—	—
	【参考指標】県民による緑化活動件数	目標	55件	増加	増加	増加	増加
		実績	55件	52件	59件	60件	—
	進捗状況説明	<ul style="list-style-type: none"> 地域住民等による緑化活動の持続的支援に必要な花苗づくりを行う中核的団体に対して花苗づくりの支援を行った。 福祉事業所による花苗の生産及び緑化活動の支援を行っている事例など、他県における先進地の視察を行った。 周年を通して花と緑であふれる活動の創出の現地モデルについて検討を行った。 中核的団体の構成員の一つである福祉事業所の障がい者の就労支援にも繋がった。 					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> ・中核的団体による苗の配布により、近隣で活動する住民への認知が進んだが、一方で、配布にかかる円滑な情報発信に課題もあったため、当該作業の強化が必要である。 ・また、中核的団体は自身の運営にかかる資金の確保が弱いため、組織力強化や地域との連携体制の構築が必要である。 ・現在、地域住民の緑化活動に供される花苗の種類は、数ヶ月から半年で植替が必要なものであるため、より長くもつ種類も導入することで、周年を通して花と緑であふれる場の創出に繋げる必要があり、生産する福祉事業所等や活用する地域住民の技術向上が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・苗の生産や配布作業が円滑になるよう、関係団体と連絡調整を行える体制を構築する。 ・周年を通して花と緑であふれる活動の創出につながるような多種類の花苗や花木の選定、それらの生産体制及び技術の確立、苗の植栽後の現場の維持管理の技術を向上させる必要がある。

今後の取り組み方針
<ul style="list-style-type: none"> ・苗の生産だけでなく、苗の配布にかかる情報の発信能力を強化し、地域住民の緑化活動を促す。 ・これまで利用されてきた苗だけでなく、周年花と緑であふれる場の創出に繋がる花苗の種類の導入を推進する。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	うち交付金充当額	うち県負担金	うち市町村負担金	その他	交付対象外経費
29,671	27,673	22,138	5,535	0	0	1,998



資金の流 れ、費 目・	評価	点検項目	評価に関する説明
資金の流 れ、費 目・	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は公募型プロポーザル方式により企業組織、実績、知識等を勘案した上で選定しており、妥当であったと考えている。 ○補助事業者は事業費の1割を負担しており、事業内容の負担割合から判断しても妥当であった。 ○費目・用途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

平成28年度沖縄振興特別推進交付金事業（県分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	242	沖縄らしい風景づくり推進事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-1-(6)-ア			
担当部署名	土木建築部 都市計画・モノレール課	事業実施(予定)年度	平成 24 ~ 28 年度	沖縄振興基本方針該当箇所	沖縄らしい風景づくり		
事業内容	普遍的観光資源である沖縄独特の風景・まちなみ景観の創生を図ることを目的に、県民の風景づくりに対する意識向上に向けたシンポジウム開催等広報啓発を行うとともに、風景づくりに係る人材の育成、景観向上に係る技術研究開発、県実施公共事業における景観評価システムの構築検討及び試行に係る取り組みを行う。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ()						
予算額・執行額【単位:千円】			26年度	26年度(繰越)	27年度	27年度(繰越)	28年度
	予算の状況	(a) 当初予算額	55,297	—	73,982	0	52,100
		(b) 予算現額	55,297	—	74,364	0	58,970
		(c) 増減額(b-a)	0	—	382	0	6,870
		(d) 前年度繰越額	—	—	—	—	—
		A. 計(b+d)	55,297	—	74,364	0	58,970
	B. 執行済額		54,918	—	73,904	0	55,305
	うち交付金充当額		43,934	—	59,123	0	44,244
	C. 次年度繰越額		0	—	0	0	0
	執行率(%) (B/A)		99.3%	—	99.4%	—	93.8%
予算の状況の説明		・予算額はシンポジウムの開催、人材育成、景観評価システム構築検討、景観向上に係る技術開発の委託料及び旅費等の経費を計上したところであり、平成28年度はシンポジウムの開催、人材育成に係る講習・研修の実施、景観評価システムの試行及び沿道景観向上に係る技術研究開発を実施した。 ・執行率は93.8%であり、景観評価システム試行事業数の減に伴う不用額等が発生したことによるものである。					
活動目標(指標)及び達成状況	H28活動目標(指標)		達成状況				
			25年度	26年度	27年度	28年度	
	県民の風景づくりに対する意識向上に向けたシンポジウム開催	目標	1回	1回	1回	1回	
		実績	1回	1回	1回	1回	
	地域の景観向上への取り組みをリードする地域人材育成に係る講習回数	目標	人材育成実施	6回(6地区)	6回(6地区)	6回(6地区)	
		実績	人材育成実施	6回(6地区)	6回(6地区)	6回(6地区)	
	地域の景観活動への指導・助言・コーディネート等に係るスキルアップ研修開催数	目標	人材育成実施	4回	4回	4回	
		実績	人材育成実施	4回	7回	5回	
	景観に配慮された社会資本整備を行うための景観評価システム案試行	目標	試行実施	試行実施	試行実施	試行実施	
		実績	試行実施	試行実施	試行実施	試行実施	
景観向上に係る技術開発	目標	—	技術開発実施	技術開発実施	技術開発実施		
	実績	—	技術開発実施	技術開発実施	技術開発実施		
達成状況説明		・県民の風景づくりに対する意識向上に向けたシンポジウムを開催した。 ・地域の景観向上への取り組みをリードする地域人材育成を実施した。 ・市町村職員を対象とした地域の景観活動への指導・助言・コーディネート等に係るスキルアップ研修を開催した。 ・道路、河川、宮繕、港湾、海岸分野において景観評価システム案の試行を実施した。 ・沿道景観向上に係る技術研究開発を実施した。					
成果目標(指標)及び進捗状況	H28成果目標(指標)		基準値(24年度)	26年度	27年度	28年度	目標値(33年度)
	県民の風景づくりに対する意識向上に向けたシンポジウム参加者数	目標	200人	200人	200人	200人	2000人
		実績	362人	238人	214人	189人	—
	地域の景観向上への取り組みをリードする地域人材数	目標	—	60人(6地区)	60人(6地区)	60人(6地区)	400人
		実績	—	661人(6地区)	407人(6地区)	301人(6地区)	—
	地域の景観活動への指導・助言・コーディネート等に係るスキルアップ研修受講者数	目標	—	50人	50人	50人	200人
		実績	—	226人	160人	114人	—
	景観評価システム案試行により景観配慮設計等を行った事業数	目標	—	9件	10件	8件	25件
		実績	—	8件	10件	7件	—
	景観向上に係る技術開発件数	目標	—	1件	1件	1件	3件
実績		—	1件	1件	1件	—	
進捗状況説明		・シンポジウムの成果目標である参加者数については、実績値が189人で未達成となっている。達成できなかった主な理由は、受託者との調整に時間を要したため十分な広報活動を行うことができなかったことによるものである。 ・景観評価システムの成果目標である試行事業数については、実績値が7件で未達成となっている。達成できなかった主な理由は、対象事業の選定について担当課との調整に時間を要したことによるものである。 ・地域の景観向上への取り組みをリードする地域人材育成を6地区で実施したところ、延べ301人が参加し、目標を達成することができた。 ・地域の景観活動への指導等に係るスキルアップ研修を開催したところ、延べ114人が参加し、目標を達成することができた。 ・沿道景観向上に係る技術研究開発を1件実施し、目標を達成することができた。					

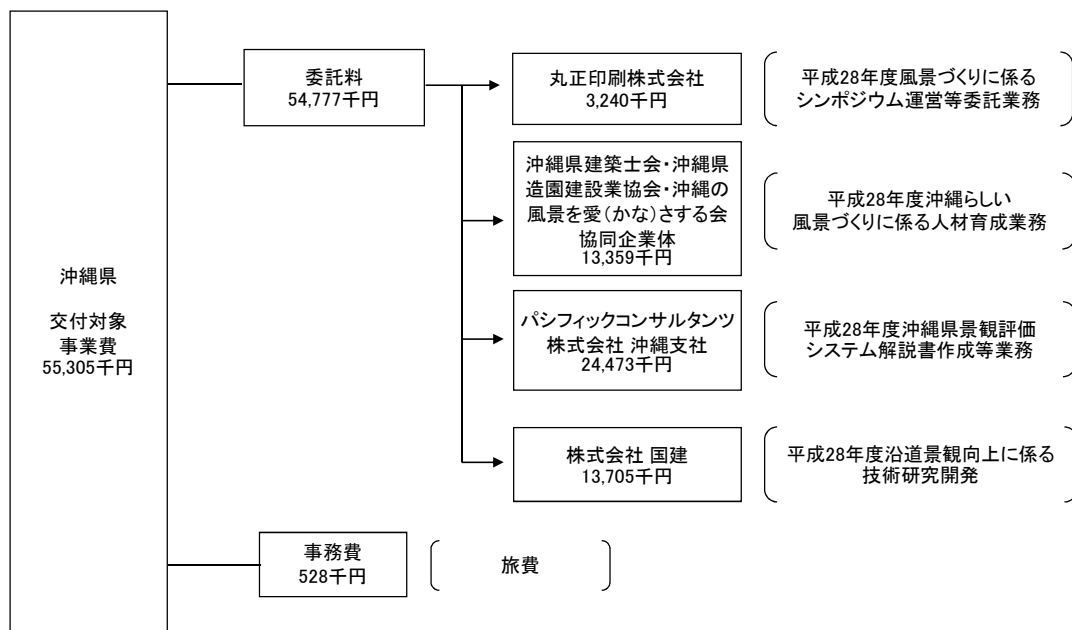
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> ・シンポジウムの成果目標である参加者数を達成するためには、ネームバリューのある基調講演者の選定だけでなく、効果的な広報活動を行う必要がある。 ・多くの地域住民は、風景・まちなみづくりへの関心が低いとの市町村からの意見もあり、地域景観協議会の設立には至っておらず、風景づくりに係る人材育成後、育成された人材が活動を実施できる体制が整備されていない。 ・景観評価システムを円滑に運用するため、事業担当課の発注状況を把握しておく必要がある。 ・沿道景観向上に係る技術研究開発について、経済的な制約の下、植栽等の効率的な維持管理と美観維持に貢献する景観形成を両立させることが重要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・シンポジウムの開催にあたっては、基調講演者の選定等と並行して早い段階から広報活動の検討を始め、十分な周知期間を確保する必要がある。 ・景観評価システムについて、当該年度の前年度中に対象事業リストの提出を求め、あらかじめ発注予定時期等を把握しておく必要がある。 ・沿道景観向上に係る技術研究開発について、効率的な雑草抑制と景観向上の両立が経済性の観点から重要であることから、道路維持管理業務の発注形態やイニシャルコストとランニングコストを含めたトータルコスト等の検討を行う必要がある。

今後の取り組み方針

・シンポジウムの開催にあたっては、基調講演者の選定等と並行して早い段階から広報活動の検討を始め、十分な周知期間を確保する。
 ・育成された人材が活動できる機会、場を創出するため、各地区でワークショップを開催するなど、地域景観協議会等の設立に向けて引き続き取り組んでいく。
 ・景観評価システムについて、当該年度の前年度中に対象事業リストの提出を求め、あらかじめ発注予定時期等を把握する。
 ・沿道景観向上に係る技術研究開発について、道路維持管理業務の発注形態やイニシャルコストとランニングコストを含めたトータルコスト等の検討を行うため、土木事務所担当者等を交えたフォローアップ会議を開催する。

資金の流れ
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	うち交付金充当額	うち県負担金	うち市町村負担金	その他	交付対象外経費
55,305	55,305	44,244	11,061	0	0	0



資金の用途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<ul style="list-style-type: none"> ・受託事業者は公募型プロポーザル方式により企画提案内容、実施体制、実績等を勘案した上で選定しており、妥当であったと考えている。 ・費目、用途については、事業目的達成の観点から必要なものを実施し、完了後の検査を実施することで、支出内容の確認を行っている。
	○	予算規模は事業内容に合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

平成28年度沖縄振興特別推進交付金事業（県分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	231 沖縄フラワークリエイション事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第3章-1-(6)-イ			
担当部課名	土木建築部 道路管理課	事業実施(予定)年度	平成 24 ~ 33 年度	沖縄振興基本方針該当箇所		花と緑あふれる県土の形成 Ⅲ-1-(1)	
事業内容	観光地沖縄の魅力を増大するため、観光地アクセス道路等において花木・プランター等を設置し、花いっぱい道路空間を形成する。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】		26年度	26年度(繰越)	27年度	27年度(繰越)	28年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	383,000	—	490,000	0	490,000
		(b) 予算現額	383,000	—	490,000	0	710,000
		(c) 増減額 (b-a)	0	—	0	0	220,000
		(d) 前年度繰越額	—	—	—	—	—
	A. 計 (b+d)		383,000	—	490,000	0	710,000
	B. 執行済額		374,697	—	489,910	0	707,684
	うち交付金充当額		299,757	—	391,928	0	566,147
	C. 次年度繰越額		0	—	0	0	0
	執行率 (%) (B/A)		97.8%	—	100.0%	—	99.7%
予算の状況の説明		・執行率は99.7%であり、入札差金による不用額(約231万円)が発生したことによる。					
活動目標(指標)及び達成状況	H28活動目標(指標)		達成状況				
			25年度	26年度	27年度	28年度	
	花の飾花・環境整備	目標	15路線	32路線	41路線	41路線	
		実績	15路線	27路線	40路線	41路線	
		目標					
		実績					
達成状況説明	・平成28年度は、目標の41路線に対してコンテナの飾花等の植栽管理業務を委託する形で事業を実施した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H28成果目標(指標)		基準値(25年度)	26年度	27年度	28年度	目標値(33年度)
	沖縄らしい道路緑化に対する観光客の満足度	目標	—	85%	85%	85%	90%
		実績	82%	85%	95%	88%	—
		目標					
		実績					
	進捗状況説明	・観光地へのアクセス道路41路線において、年間を通してコンテナ飾花や草花の植付等による道路緑化を実施。平成28年度末に、観光客に対して事業の満足度に関する質問形式のアンケート調査を行い、観光客の満足度88%と目標を達成することができた。					

